

2023年度 施策評価シート(2022年度実績)

1 評価施策名		担当部課室	教育委員会 高校教育課
重点戦略	I 教育県岡山の復活		
戦略プログラム	グローバル人材育成プログラム		
施策名	【重点】国際的に活躍できる人材の育成		

2 生き生き指標(推進施策の指標)の進捗(達成)状況

指標名	県内大学等及び高校からの海外留学生数(大学等)	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	104	690	1,034	1,380
現況値	1,379人/年(2018年度)	実績値	39	399		
目標値	1,380人/年	達成率	37.5%	57.8%		
備考		達成度	1	2		

指標名	県内大学等及び高校からの海外留学生数(県立高校)	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	110	230	310	380
現況値	380人/年(2018年度)	実績値	1	70		
目標値	380人/年	達成率	0.9%	30.4%		
備考		達成度	1	1		

指標名	県内大学等及び高校からの海外留学生数(私立高校)	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	70	150	200	250
現況値	243人/年(2019年度)	実績値	25	73		
目標値	250人/年	達成率	35.7%	48.7%		
備考		達成度	1	1		

指標名	インターネットを介して海外の学校や大学等と直接交流をしている県立高校の数	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	18	27	36	45
現況値	7校(2020年度)	実績値	22	32		
目標値	52校	達成率	122.2%	118.5%		
備考	2022年度:39校(達成率は現況値からの増加数で算出)	達成度	5	4		

3 関連する事業名

- ・未来をつくるグローバルチャレンジ応援事業
- ・岡山の高校生留学支援事業
- ・ワールド・ワイド・ラーニング(WWL)コンソーシアム構築支援事業
- ・グローバル・リーダー育成拠点構築事業
- ・私立高校生留学支援事業

4 施策達成レベル

2.8	生き生き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して施策達成レベルを算出
-----	------------------------------------

5 施策推進による主な成果

<p>高校においては、生徒の実態に応じて4技能を統合した活動を重視し、生徒の発信力を強化するための取組を進めていくことで、高校3年生の英語力(英検準2級程度以上)が引き続き上昇傾向にある(2021年度:48.8%、2022年度:51.6%)など、一定の成果が見られる。</p> <p>海外留学や国際交流については、新型コロナウイルス感染症の影響は残っていたものの、入国制限等の緩和や留学プログラムの再開等により、海外留学生数は前年度と比較して回復基調となった。また、オンライン国際交流コーディネーター配置事業等によるインターネットを介した海外との交流促進により、交流実施校の増加につながった。</p>
--

6 今後の施策推進に向けての課題

授業において生徒の英語による発話量を増加させることや、放課後等授業以外でもALTと英語で話す取組を充実させるなど、生徒が日常的に英語に触れる機会を増やすとともに、英語ディベート大会等への参加者の一層の拡大に努めることで、生徒の英語力のさらなる向上を図る必要がある。

また、オンライン国際交流コーディネーターを活用し海外との交流促進を引き続き図りつつ、留学コーディネーターの活用等により海外留学への意欲を喚起する機会を設けるとともに、留学プログラムの開発、留学支援制度の更なる周知や民間の奨学金制度の活用、国際的なサミットに生徒を派遣し、その成果を次世代につなぐ仕組みを設けるなど、海外留学等を促進させるため、さらなる機運の醸成を図る必要がある。

2023年度 施策評価シート(2022年度実績)

1 評価施策名		担当部課室	教育委員会 高校教育課
重点戦略	I 教育県岡山の復活		
戦略プログラム	グローバル人材育成プログラム		
施策名	【重点】 Society5.0に向けた人材の育成		

2 生き生き指標(推進施策の指標)の進捗(達成)状況

指標名	全国規模の理数・情報・政策提案等のコンテストへの県立高校生 の参加者数	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	658	682	706	730
現況値	611人/年(2019年度)	実績値	405	705		
目標値	730人/年	達成率	61.6%	103.4%		
備考		達成度	2	4		

3 関連する事業名

- ・サイエンスチャレンジ
- ・科学オリンピックへの道
- ・プログラミングコンテストへの道

4 施策達成レベル

4.0	生き生き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して施策達成レベルを算出
-----	------------------------------------

5 施策推進による主な成果

新型コロナウイルス感染症の影響が縮小したことや、全国規模のコンテストの情報を分かりやすく集約してホームページに示したこと等により、2021年度と比較して各種コンテストの参加者数が大幅に増加し(2021年:405人、2022年:705人)、子どもたちのチャレンジする機会を大きく推進することができた。

6 今後の施策推進に向けての課題

子どもたちのチャレンジする機会をさらに推進し、優れた能力、才能、個性を伸ばすため、全国規模のコンテストの情報を引き続き積極的に発信するとともに、その情報にアクセスしやすくするよう行事等を通じて引き続き働きかけていく必要がある。

2023年度 施策評価シート(2022年度実績)

1 評価施策名		担当部課室	教育委員会 高校魅力化推進室
重点戦略	I 教育県岡山の復活		
戦略プログラム	グローバル人材育成プログラム		
施策名	【推進】時代の変化に対応した魅力ある学校づくり		

2 生き生き指標(推進施策の指標)の進捗(達成)状況

指標名	高校生活に満足している生徒の割合	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	92.0	93.0	94.0	95.0
現況値	91.5% (2020年度)	実績値	90.4	87.7		
目標値	95.0%	達成率	98.3%	94.3%		
備考		達成度	3	3		

3 関連する事業名

- ・高校と地域で創る未来の学びプロジェクト

4 施策達成レベル

3.0	生き生き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して施策達成レベルを算出
-----	------------------------------------

5 施策推進による主な成果

<ul style="list-style-type: none"> ・県立高校と自治体の更なる連携強化等により、小規模校等の更なる魅力化・特色化を進め、県内外からの志願者増を図るために、全国募集の実施要件を満たす高校のうち、地元自治体からの支援を受けている高校3校を「指定校」とし、カリキュラム開発や教育環境整備等を推進した。また第1学年の募集定員が3学級のうち5校を「準指定校」とし、地域連携組織の設置等により地元自治体からの支援を得るなど、地域連携の強化を図った。 ・高校と地域との連携をより一層推進するため、外部連携組織から学校運営協議会への移行を推進した。 ・高校生探究フォーラムを実施し、総合的な探究の時間におけるPBLや各教科における様々な探究活動での成果を発表する場を創出することで、生徒の更なる学びの深化に加え、企業や大学との連携強化を図った。
--

6 今後の施策推進に向けての課題

<p>コロナ禍で学習活動が縮小した影響により、満足度が低下していると思われることから、今後はでき限りコロナ禍前の状態に戻しながら、教育活動の充実を図る必要がある。また、生徒数の減少により、県立高校への志願倍率が低下しており、特に小規模高校等の更なる魅力化・特色化に向けた自走体制を確立するとともに、地元中学生及び県内外からの志願者数の増加を図る必要がある。</p>
--

2023年度 施策評価シート(2022年度実績)

1 評価施策名		担当部課室	総務部 総務学事課
重点戦略	I 教育県岡山の復活		
戦略プログラム	グローバル人材育成プログラム		
施策名	【推進】高等教育機関における実践的な人材育成等の推進		

2 生き生き指標(推進施策の指標)の進捗(達成)状況

指標名	県内の事業所に就職した学生の割合(県立大学)	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	53.5	54.0	54.5	55.0
現況値	52.2%(2018年度)	実績値	53.9	48.0		
目標値	55.0%	達成率	100.7%	88.9%		
備考		達成度	4	3		

3 関連する事業名

・県立大学と自治体・県内企業との連携促進

4 施策達成レベル

3.0	生き生き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して施策達成レベルを算出
-----	------------------------------------

5 施策推進による主な成果

県内企業等で勤務する県立大学卒業生が在学学生へのキャリア形成の知見を提供する「県大吉備塾」を9回開催し、参加した学生からは高い評価が得られた。また、県内中小企業からなる岡山県立大学協力会企業の業種説明会や寄附講座の開催により、地元企業・業界の魅力をPRすることができた。

若者の地元定着と地域活性化を目的とした副専攻「吉備の杜」では、インターンシップ関連の授業に43名が履修し、地域創生推進士を23名認定した。

これらの取組などを進めたものの、令和4年度の学部の県内就職率は、県内出身者の割合低下の影響もあり、48%にとどまった。

6 今後の施策推進に向けての課題

県内出身者の県内就職率は70%台であるが、約半分を占める県外出身者の県内就職率は20%程度にとどまっているため、県内企業のインターンシップの広報活動や、県内企業で構成される岡山県立大学協力会との協働など、県内企業等の魅力を伝える取組を強化する必要がある。

副専攻「吉備の杜」の岡山創生学課程、吉備の杜クリエイター課程及びプロデューサー課程において相互で密に連携し、令和7年度からの自走化に向けて、社会連携教育の一層の充実を図る必要がある。